

## 企業等との連携授業

授業科目名	化粧品研究開発製造実習Ⅰ、Ⅱ	授業時数	360時間
実施期間	令和4年4月15日～令和5年2月3日		
実習・演習等の目的及び概要	業界に必要とされる自立した専門職業人となるために、問題発見、調査、解決能力を身に付ける。目標を設定し、それを達成するための計画を立てることができる。化粧品を作る為に必要な企画・処方開発から商品製造までの流れを実際に行い、自分たちの研究内容を他者にもわかるように発表するスキルを身につける。		
企業等との連携の基本方針	学生が授業を通じて「実学」を学び、卒業後、化粧品業界に長く貢献できる人材を育成することを方針としている。そのために必要とされる原料、処方の研究開発についての知識、技術について、実際の企業の担当者から学ぶ。		
企業等との連携	化粧品業界において研究開発経験を有し、大学・専門学校においても化学・化粧品分野の教員経験を10年以上担当する講師が、化粧品を企画・開発するための基本となる知識、技術を習得するための授業を行う。また、化粧品原料メーカーの方々の原料紹介も取り入れるため、学科の担当教員、講師、企業が実施前に打ち合わせを行い、時期、内容を確定する。		
学修成果の評価方法	出席状況、授業態度、卒業研究発表会(中間、最終)、学習成果発表会での評価シートにより、評価する。		

### 実習・演習等計画

日程	実習・演習等の内容	実施場所
令和4年4月15日～ 令和5年2月3日	各学生がやりたいテーマを話し合い、チームメンバーを決定し、化粧品の企画、原料検討、処方組み、サンプル作成、評価の計画をたて進めていく。化粧品原料メーカーの方々から直接、原料のご紹介も取り入れ、研究内容や処方組みについてのアドバイスなども頂く。講師、業界の方々に向け最終発表を行い、自分たちのテーマを分かりやすく発表し、質疑応答を行う。	校内・外部発表会場
連携する企業等	化粧品メーカー、化粧品原料メーカー	